

# ふれあいかんだより

8

かわさきし かん  
川崎市ふれあい館

かわさきしかわさきさくらもと  
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800  
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

2025.8.1

No.436

くじょうかいけつせきにしや ちえ かんいちや  
苦情解決責任者 崔江以子  
すずき けん 健  
鈴木

かわさきしよかん みらいきよくせいしょうねんしえんしつ  
川崎市所管 こども未来局青少年支援室 (TEL044-200-3083)

## 幼稚園説明会を開催しました。



6月30日(月)に地域子育て支援センター「ろば」で幼稚園説明会を開催しました。川崎区内4園から先生が来てくださり、それぞれの幼稚園が大事にしていること、ふだんの生活の様子などをお話くださいました。パンフレットやホームページでは伝わりにくい、園の魅力が語られました。参加された保護者の方は有意義な時間が過ごせたと喜ばれていました。秋には保育所入所説明会を予定しています。

## おやつづくりを実施しました。



6月19日(木)に放課後のおやつづくりをしました。おなかを空かせた小学生たちがたこ焼きを楽しみに次々にやってきました。食べ終わった高学年は「自分たちが作る!」と名乗りを上げてくれて、あとから来た子どもたちにアツアツのたこ焼きを作ってくれました。とってもおいしくできたね!ふれあい館では夏休み期間中に手作りのお昼ごはんやおやつの日を企画しています。詳細は「あそぼ」を見てくださいね!。

## 外国人市民と避難訓練を行いました。



6月17日(火)にふれあい館の識字字級に通う外国人市民を中心に避難訓練を実施しました。今回は地震と津波を想定し、もしふれあい館利用中に発生した場合どこに避難するのかを確認しました。実際に避難先のさくら小学校の前まで行き避難経路の確認を行いました。また避難終了後はハザードマップで自分の住んでいる地域の場合どこに避難するかを共同学習者と一緒に確認しました。災害時には弱い立場の人が取り残されないよう訓練の結果から検証し改善に繋がります。

# ふれあい館 8月の予定

## こども部門

子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

### ●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

|         |                       |             |                      |
|---------|-----------------------|-------------|----------------------|
| Caféろば  | 6日、13日、20日、27日<br>(水) | 10:30～11:30 | ろばでおしゃべりしながらお茶しませんか？ |
| ぴよぴよタイム | (水)                   | 10:30～11:00 | 身長・体重を測れます。大きくなったかな？ |

## 水あそびができます

10時15分～11時30分まで（30分交代制）で1回4組で遊べます。水着・着替え・タオル・水分を用意してください。おむつが取れていない子は水遊び用のおむつを用意してください。

熱中症警戒アラートが出ているときは中止となります。

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。  
くわしくはキッズスペースろばまで

### ●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ！ くわしくはたより（あそぼ）をみてね

|                  |        |     |                     |
|------------------|--------|-----|---------------------|
| おばけやしきを<br>つくろう！ | 20日水曜日 | 1時～ | 段ボールを使っておばけやしきをします。 |
|------------------|--------|-----|---------------------|

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のたより（あそぼ）があります。

### ●民族文化サークル

|         |        |          |                            |
|---------|--------|----------|----------------------------|
| 舞踊クラブ   | 毎週 火曜日 | 4時～5時    | 毎週火曜日の放課後に活動しています。9月2日から再開 |
| ハロハロクラブ | 毎週 水曜日 | 3時～6時    | 学校の宿題や、色々な国の遊びや文化を学びます。    |
| 子どもチャンゴ | 毎週 金曜日 | 4時～5時30分 | 毎週金曜日の放課後に活動しています。9月5日から再開 |

### ●中高生の活動

|         |           |       |  |
|---------|-----------|-------|--|
| 小・中学生学習 | 毎週 火・水・木曜 | 7時～9時 | 主に新渡日外国人の小・中学生（水曜日・土曜日）、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生（火曜日・木曜日）の基礎学力保障のための学習会 |
| サポート    | 毎週土曜      | 1時～3時 |  |

しきじがっきゅう にほんご  
識字学級 日本語ブラッシュアップ研修

アドバイザーと共同学習者の役割を再考し第1期の識字学級の振り返りと第2期に向けた学習計画を考えます。

日時： 2025年8月22日（金）10:00～11:30 会場：川崎市ふれあい館

対象 識字学級共同学習者

申し込み 川崎市ふれあい館識字学級担当者まで

主催 ふれあい館、川崎市教育委員会

2025年度人権尊重学級part1 戦後80年～未来に戦前ではなく戦後を引き継ぐために～ 再掲載

8月2日（土）

16時～18時

戦争と人間の尊厳

一国内外の取材から考える

安田菜津紀さん

(認定法人Dialogue for

People副代表

フォトジャーナリスト)

8月23日（土）

16時～18時

川崎の在日コリアンの戦後80年から

共生社会を考える

三浦知人さん

(社会福祉法人青丘社

理事長)

場所 川崎市ふれあい館 桜本1-5-6

申し込み fureaikan@seijyu-sha.com 044-276-4800 ※事前申し込み制です。

主催 川崎市ふれあい館 川崎市教育委員会

● 識字学級

|           |                                |   |
|-----------|--------------------------------|---|
| 曜日<br>曜日  | まいしゅう かようび きんようび<br>毎週 火曜日・金曜日 | さんかひ わりよう きょうざいひ じつび<br>参加費 無料 (教材費は実費) |
| じかん<br>時間 | 10:00～11:30                    | 9月2日から学習をします。                           |

● 高齢者

在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにくくなっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

## ● 色々な書類の申請のお手伝いをします！

学校に提出する書類や、役所から送られてきた書類で言葉がわからなくて知らなかった人、申請のしかたがわからない人のお手伝いをします。

連絡先：ふれあい館 電話044-276-4800



■6月23日、「戦後80年  
沖縄全戦没者追悼式」で、  
玉城デニー知事がウチナ  
ーグチ（沖縄の言葉）で  
語った「私たちが沖縄が

経験した大戦（沖縄戦）から生じた実相と  
教訓は、戦争という地獄を体験した方々の  
証言や、多くの研究の蓄積によって明らかに  
され、受け継がれてきました。このことこそが、  
沖縄県民の“平和を希求する心”の原点で  
す。沖縄戦の実態と教訓を世代を超えて守り  
つづけていくことは、今を生きる私たちの使命  
であり、未来の世代へとつなぐ“沖縄の魂  
（こころ）”なのです。先人たちから受け継い  
だ“万国津梁”の精神を胸に、世界の恒久  
平和の実現に貢献していくという役割を、こ  
れからも真摯に果たしていきます。」このウチ  
ナーグチに込められた想いは、言葉以上の  
力を持って胸に迫りました。また、報道を通じ  
て、今もなお続く基地負担や米兵による性  
暴力事件をめぐる「沖縄にはまだ戦後が来  
ていない」という沖縄市民の声に触れて、  
沖縄の苦しみに無自覚であった自分を見つ  
めました。■植民地支配や朝鮮戦争を経験  
したハルモニたちも「戦争反対、平和が一番。  
もうあんな思いはしたくない。子どもたちや若  
い人には同じつらい想いをさせたくない」と  
繰り返し発信してきました。ウクライナやガザ

の惨状を目の当たりにして、話し合ったとき、  
あるハルモニは静かに言いました。「人が長  
い年月をかけて築いてきた暮らしを、一瞬で  
奪ってしまう戦争。人間はなぜ、この愚かさを  
止められないのでしょうか」そして「差別の先には  
平和ではなく戦争がある。過ちを繰り返す  
な」と、切実な想いを言葉にしてくれました。

■戦後80年を迎えた今もなお、世界では  
戦争や殺戮、民族浄化によって多くの命が  
奪われています。国内でも排外主義的な  
言動があふれ、日常のなかに分断や差別が  
深く根を張りつつあります。私たちが「戦後」  
と呼ぶこの時間の中で、沖縄が抱える痛み  
やハルモニの切なる願い、そして今まさに  
戦禍にある人々の声——「忘れないで」「見  
ていて」という叫びに、私たちはどのように  
向き合うべきなのでしょう。今この瞬間も  
世界中で繰り返される戦争と暴力は、決して  
遠い出来事ではなく、私たち自身の未来へ  
の問いかけなのかもしれません。■戦後80  
年のこの夏。平和を語る声が多く聞かれる今  
だからこそ、「私の“戦後”は、誰かの“戦前”  
になっていないか。」問い続けようと思います。  
記憶をつなぎ、声に耳をすまし、無関心でい  
ることをやめる。そして、差別や暴力の芽を  
見過ごさず、声をあげて、行動する。それが、  
過去から未来へと平和を継ぐ責任だとみつ  
めて。  
(崔)